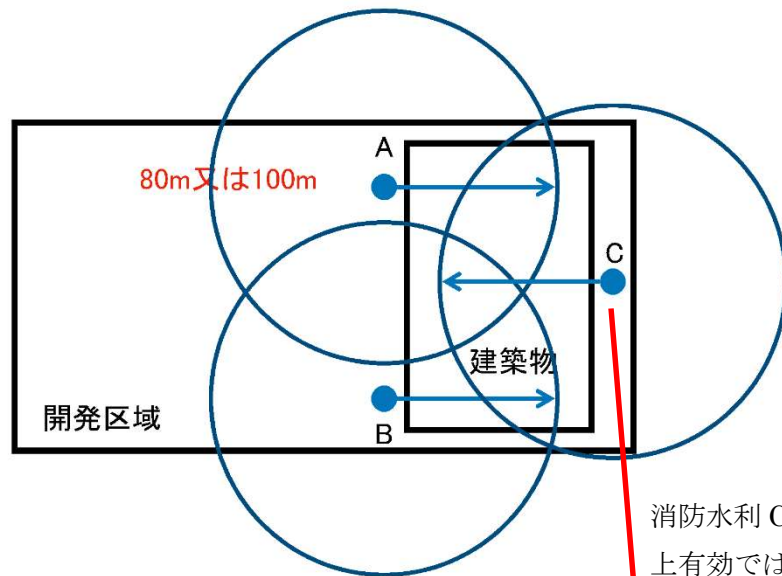
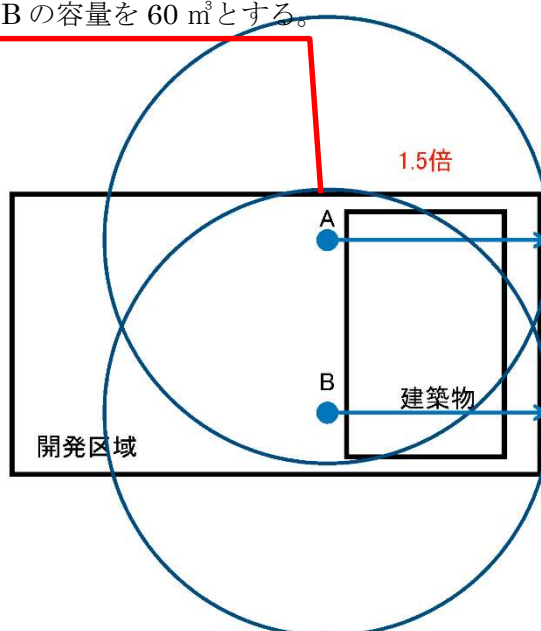


包含距離を 1.5 倍とすることが可能な場合

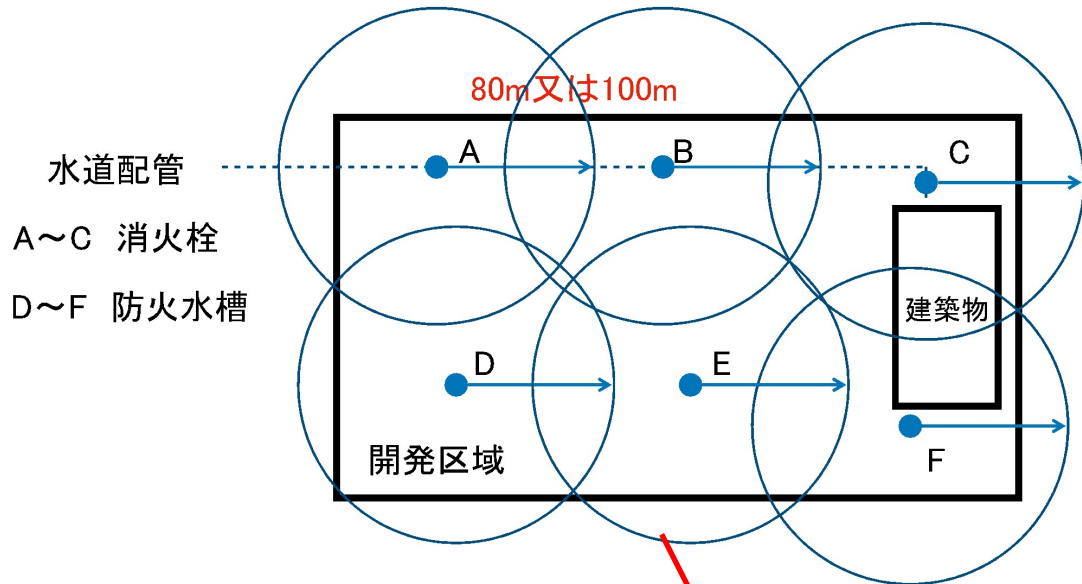
ア 市技術基準第 88 条第 3 項第 1 号により消防水利を配置し包含することが、事業計画上困難な部分又は消防活動上有効ではない部分



防火水槽 A 及び B の容量を 60 m<sup>3</sup>とする。

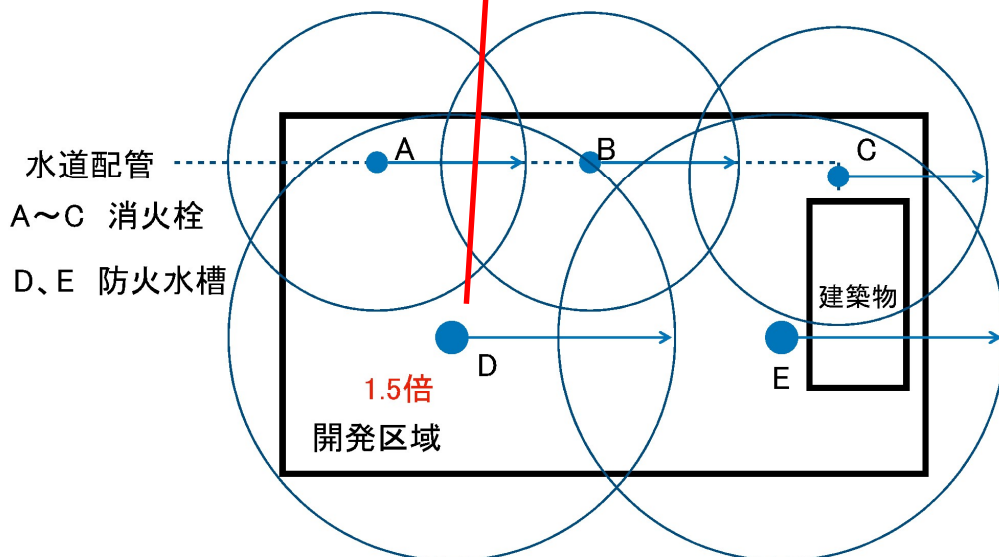


イ 開発事業区域内に、消火栓を設置できる水道配管の数が1以下であり、市技術基準第88条第3項第1号により包含するには、防火水槽を複数設置しなければならない場合。

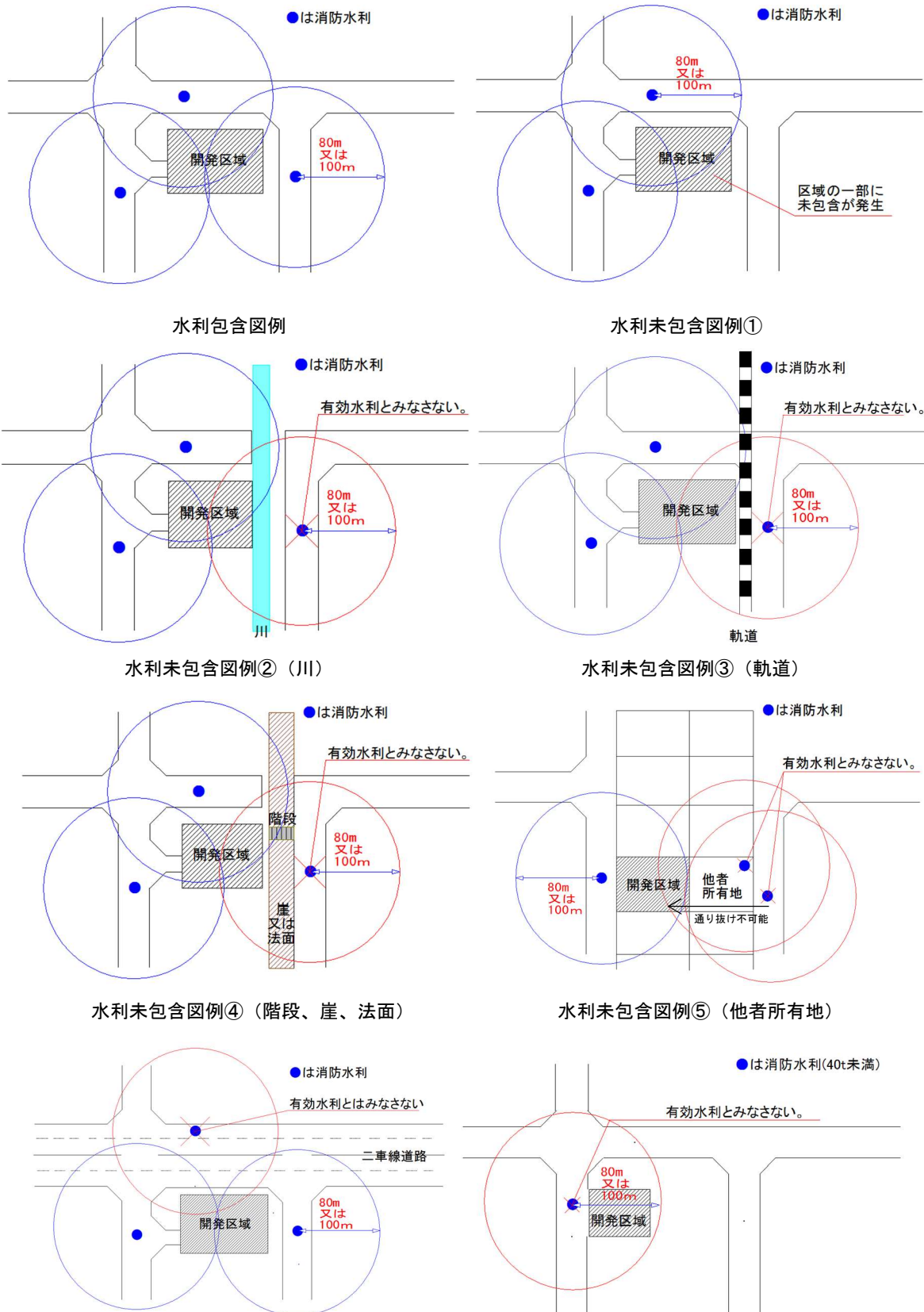


防火水槽 D 及び E の容量を 60 m<sup>3</sup>とする。

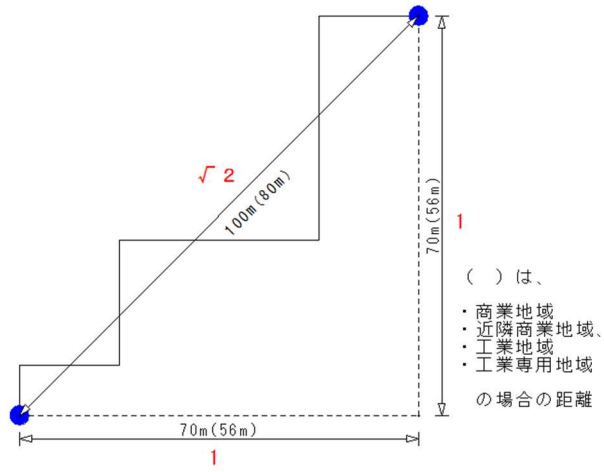
水道配管が1以下しかなく、敷地内に複数の防火水槽を設置せざるを得ない



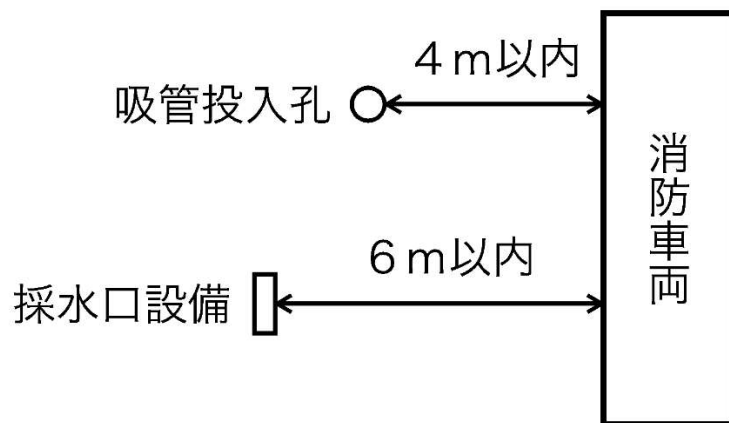
有効なホース延長の判定例



ホース延長可能距離

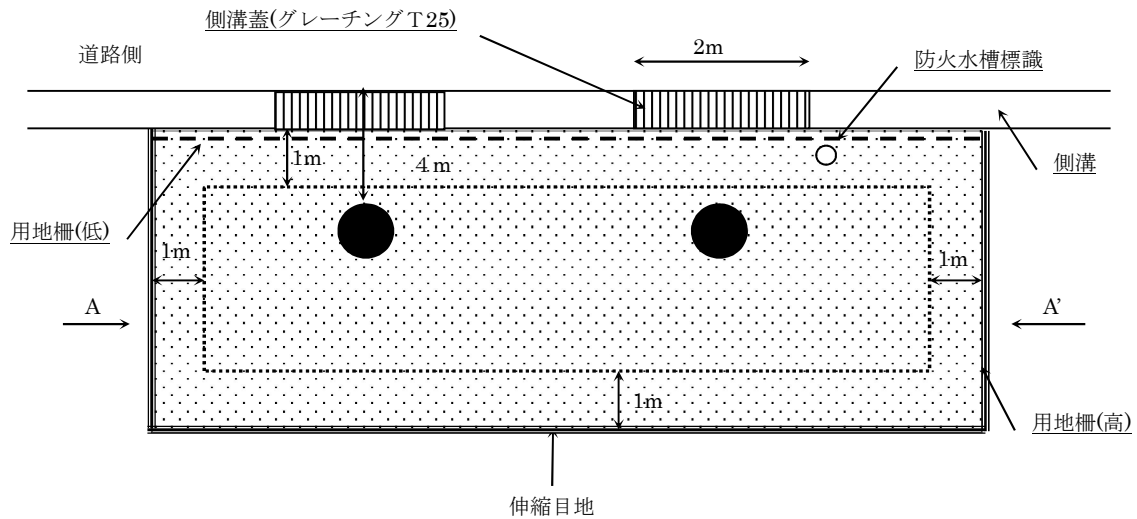


消防水利までの吸管延長可能距離

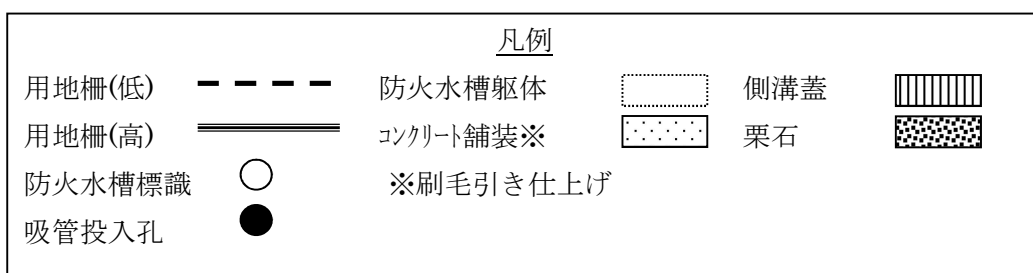
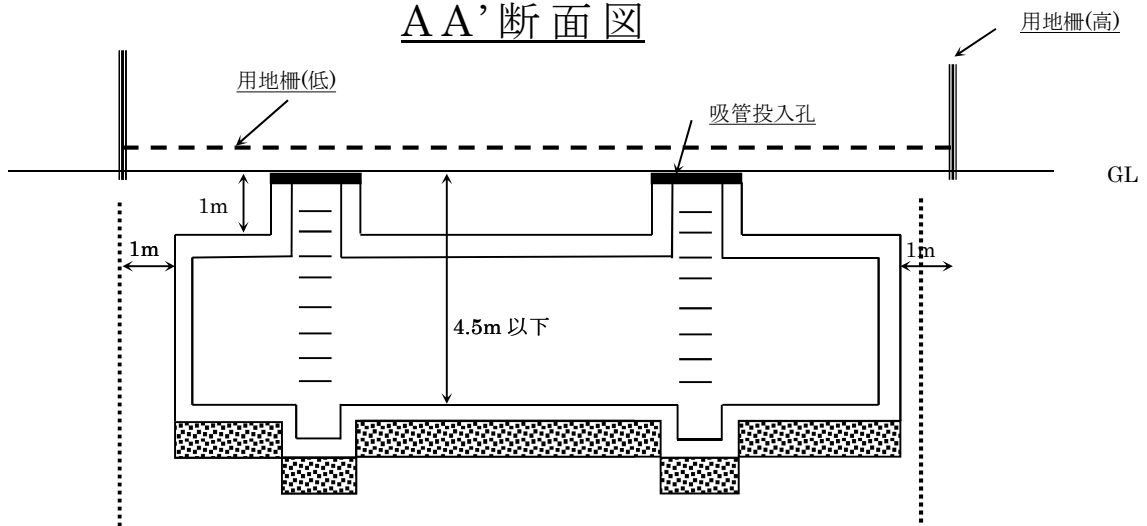


防火水槽構造図例 1

平面図

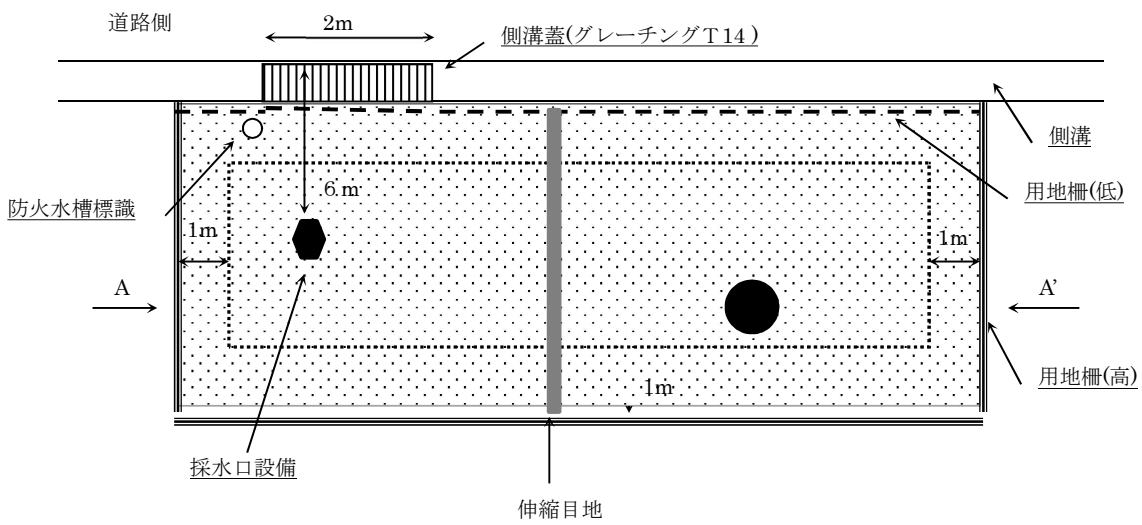


AA'断面図

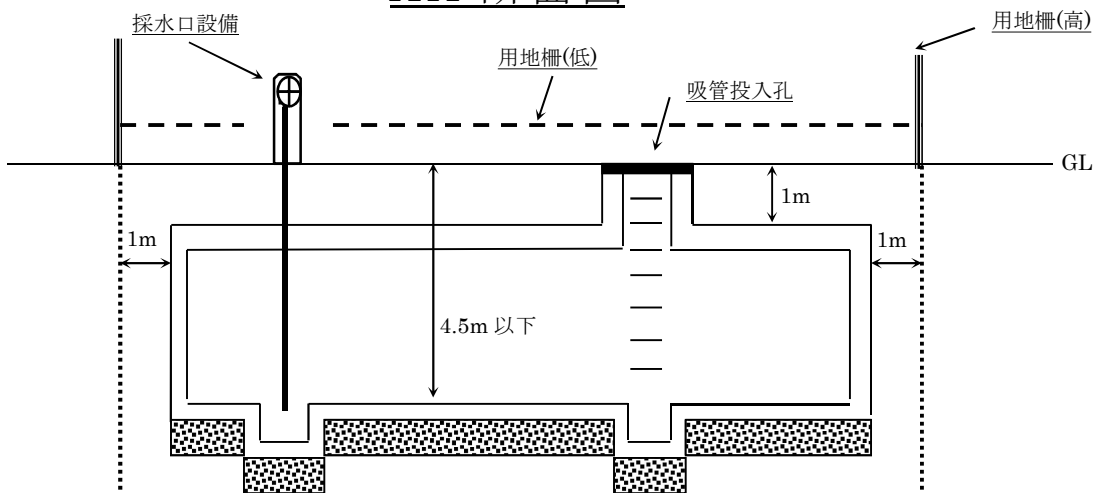


防火水槽構造図例2

平面図



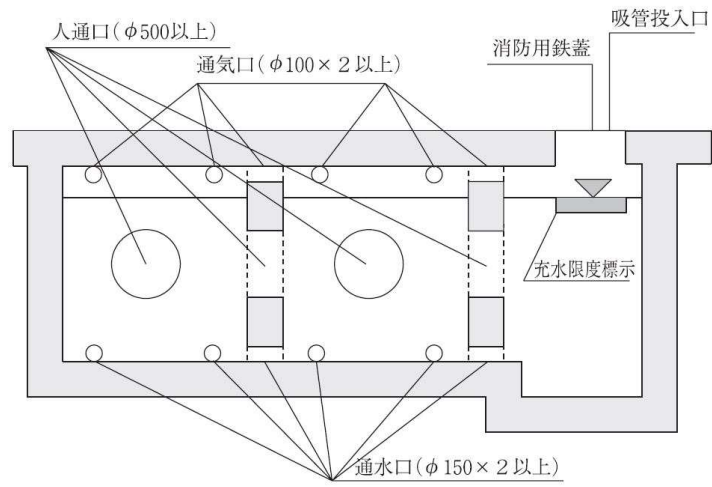
AA'断面図



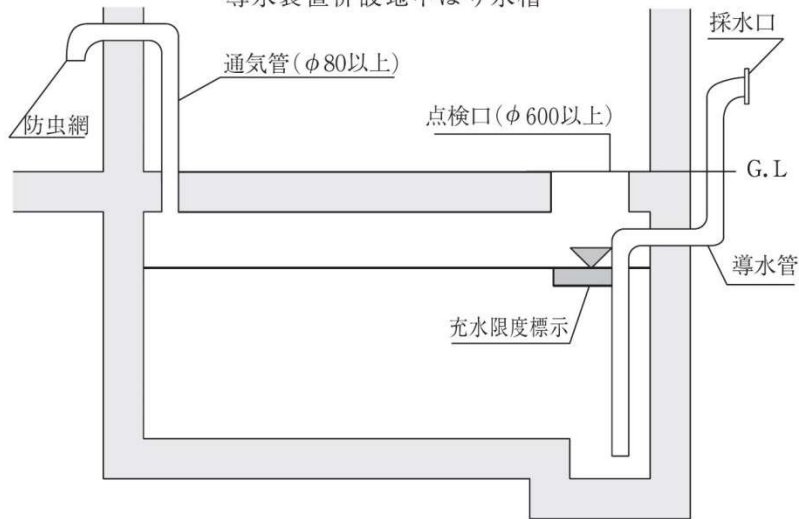
凡例			
用地柵(低)	— — — —	防火水槽躯体	□ (dotted)
用地柵(高)	====	コンクリート舗装※	□ (stippled)
防火水槽標識	○	採水口	● (hexagon)
吸管投入孔	● (circle)	※刷毛引き仕上げ	
		側溝蓋	▨ (vertical lines)
		栗石	□ (cross-hatched)

地中ばり防火水槽図例

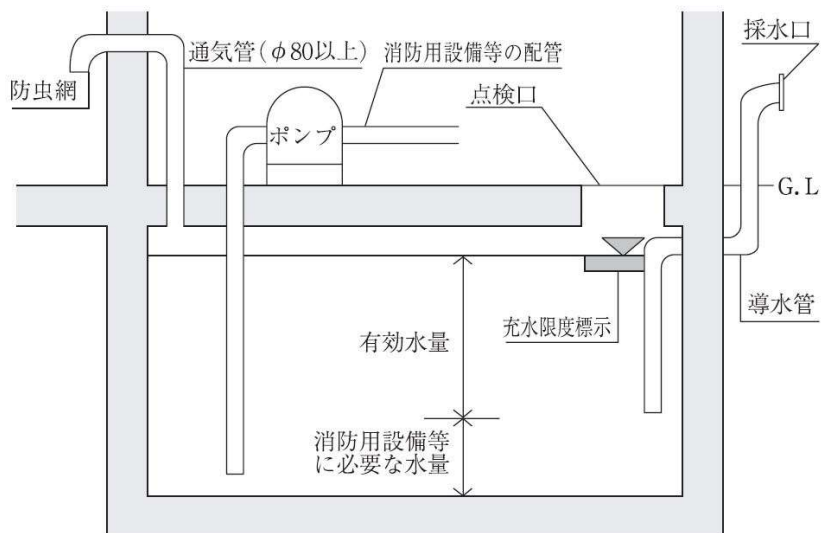
地 中 ば り 水 槽



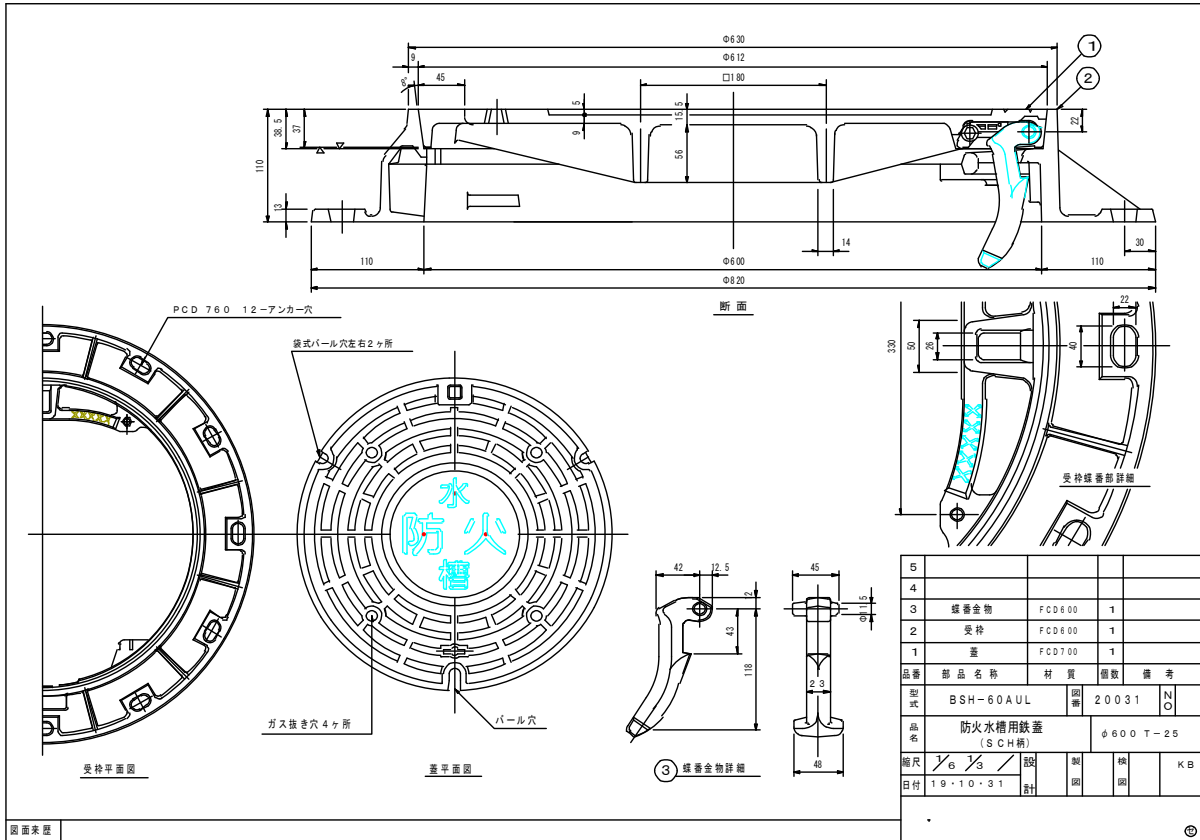
導水装置併設地中ばり水槽



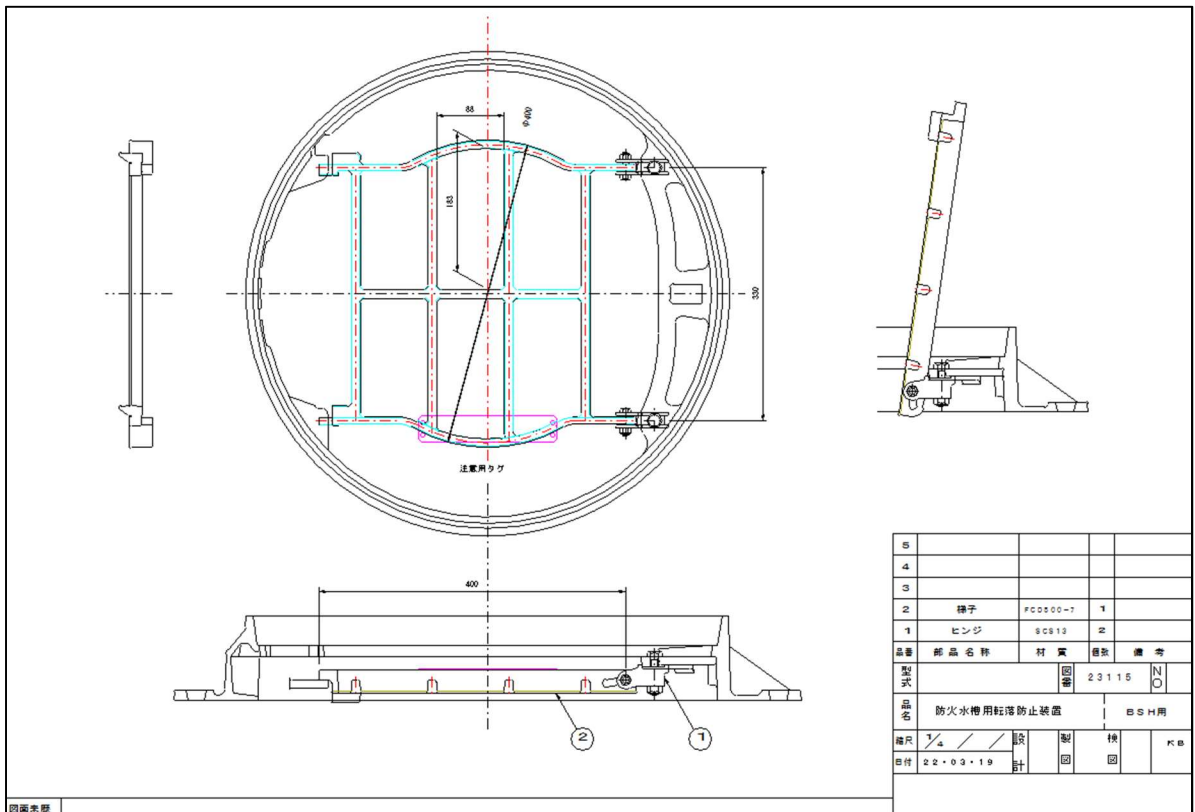
兼用地中ばり水槽



吸管投入孔蓋、転落防止措置仕様



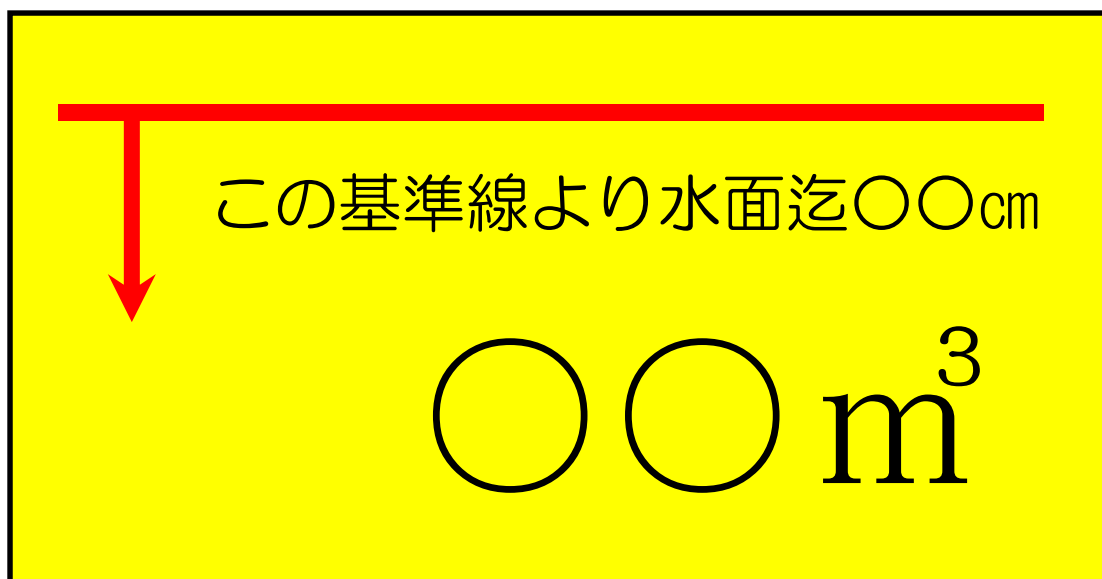
吸管投入孔蓋例



転落防止措置例

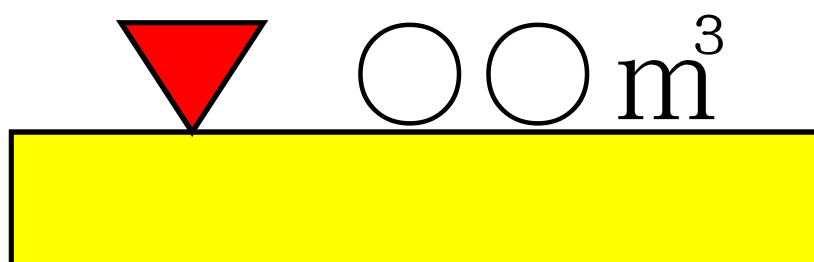


## 充水限度標示例



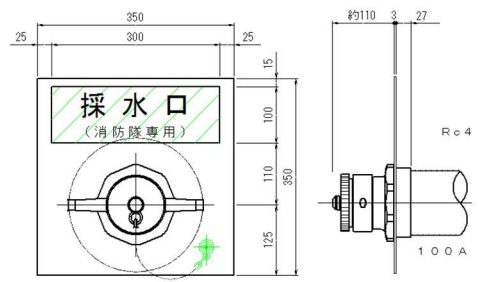
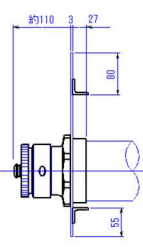
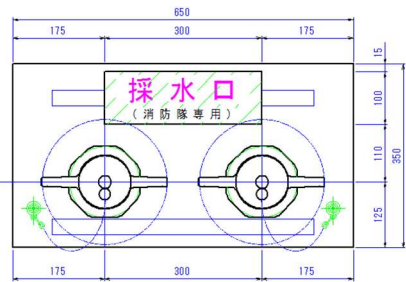
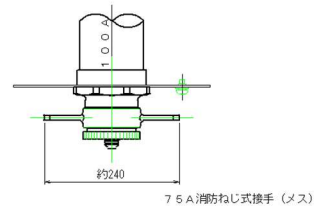
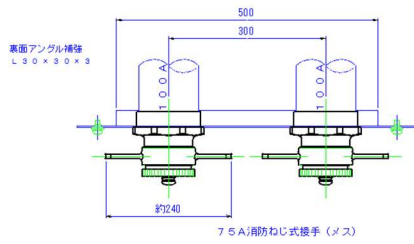
- 1 30cm×15 cm程度の大きさとし、吸管投入孔より容易に視認できる防火水槽首部にペイント、もしくは腐食のおそれがないプレートを作成して貼り付ける。
- 2 容量及び、基準線から水面までの距離を明示する。
- 3 黄色地に黒文字とし、矢印のみ赤字とする。
- 4 吸管投入孔より防火水槽壁面が容易に視認できる場合は、以下に定める充水限度表示に代えることができる。

## 充水限度標示例 2 (参考例)



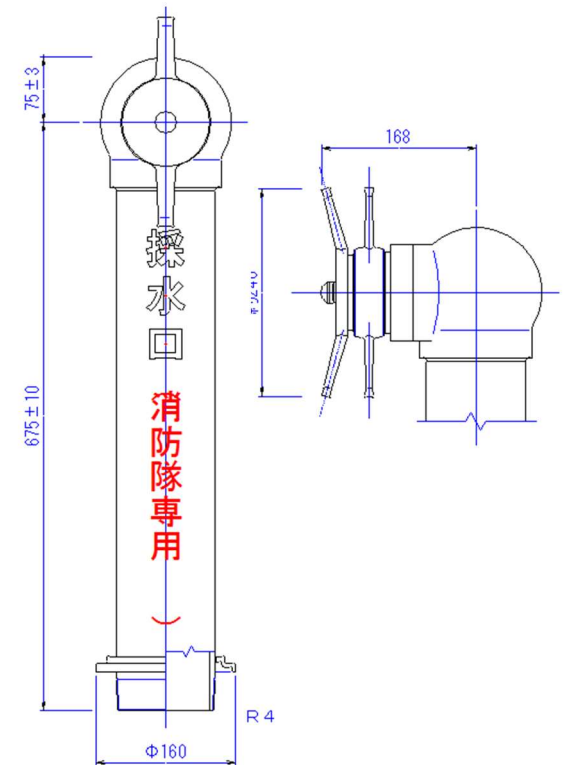
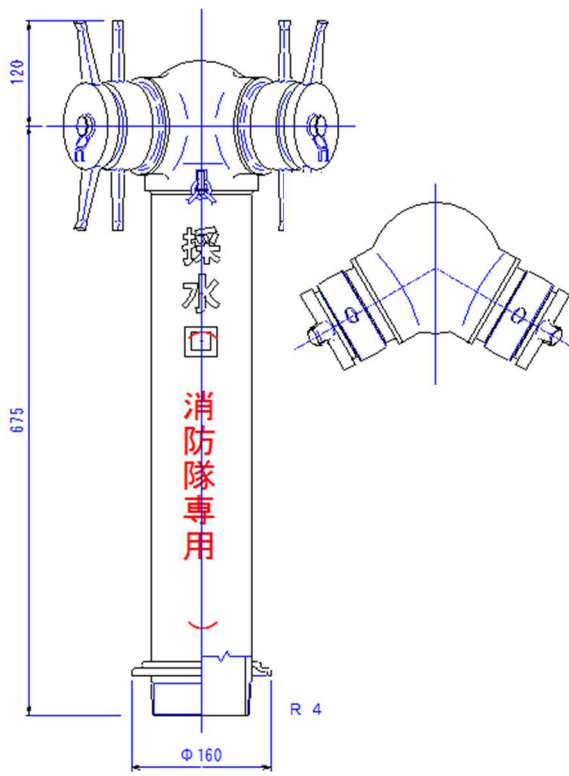
- 1 50 cm×20cm 程度の大きさに黄色で塗装する。
- 2 三角形の頂点までの水量を明示する。

採水口設備（埋め込み、スタンド型）構造図例



壁埋め込み型採水口例（双口）

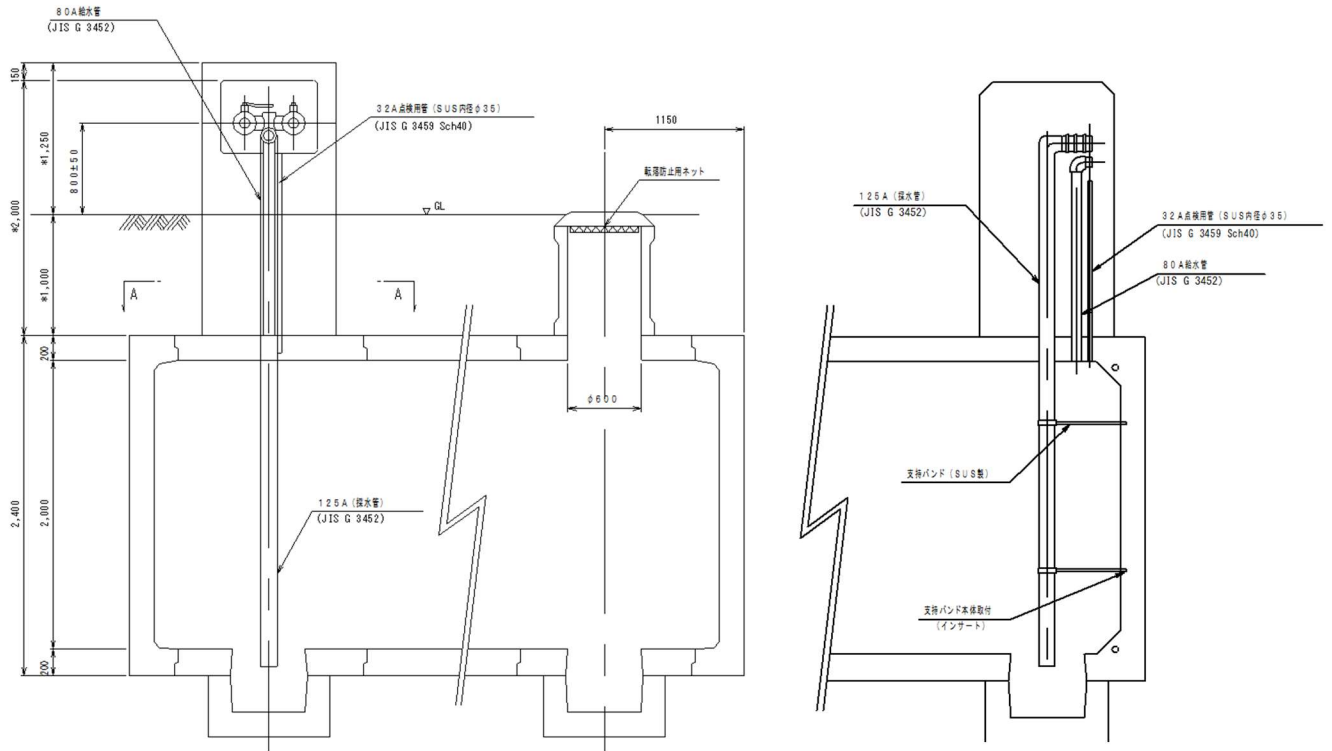
壁埋め込み型採水口例（単口）



スタンド型採水口例（双口）

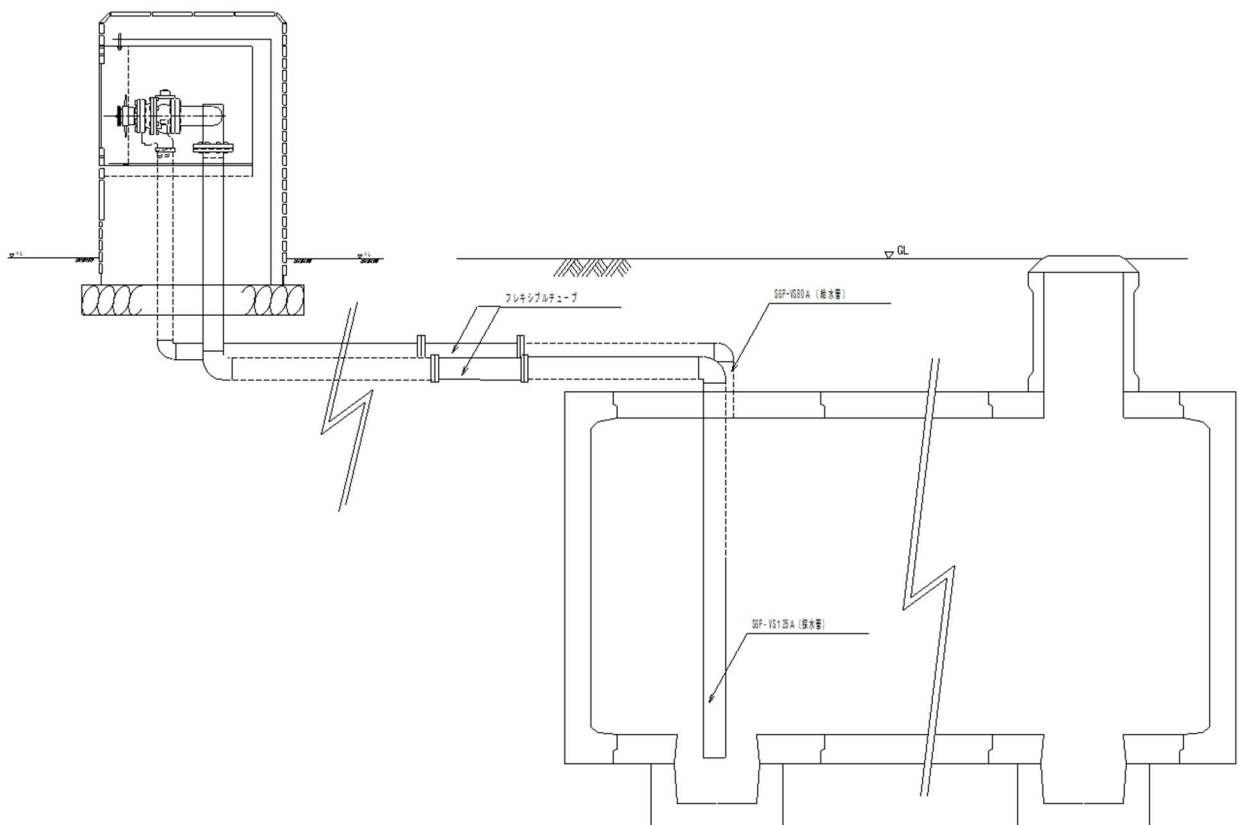
スタンド型採水口例（単口）

導水管図例



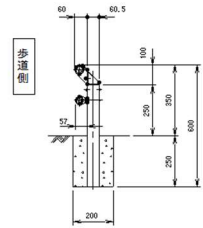
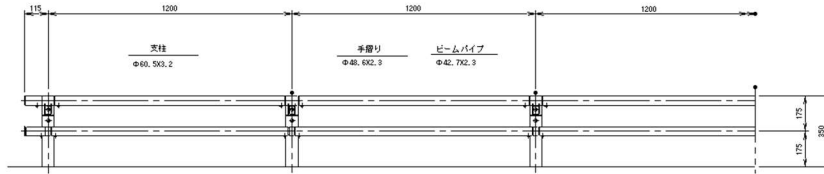
導水管立引き正面図例

導水管立引き断面図例



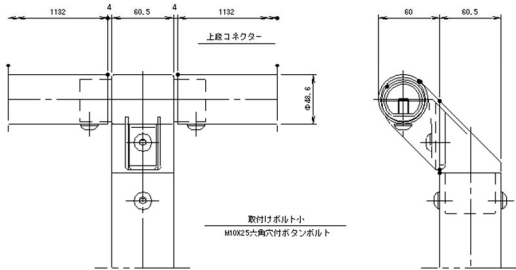
導水管横引き断面図例

防火水槽用地柵図例

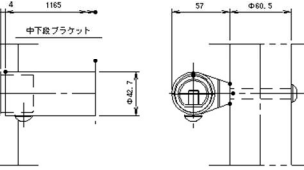


手すり取付け部詳細  
S=1/4

ビーム取付け部詳細  
S=1/4



キャップ

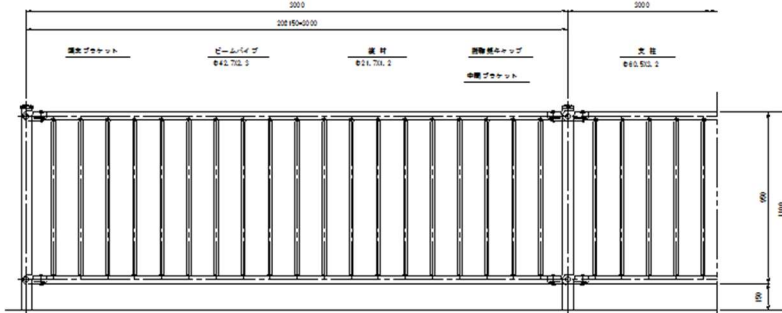


取付けボルト大  
M10X50六角穴付ボルト

取付けボルト小  
M10X25六角穴付ボルト

取付けボルト小  
M10X25六角穴付ボルト

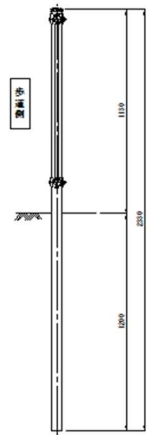
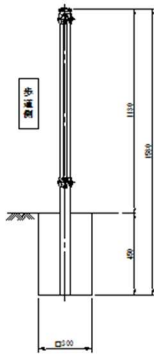
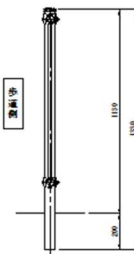
低柵 (道路側)



コンクリート埋込用 (例)

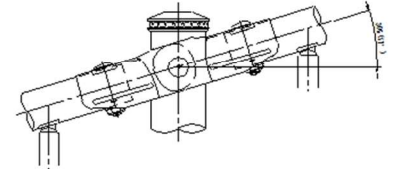
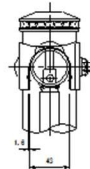
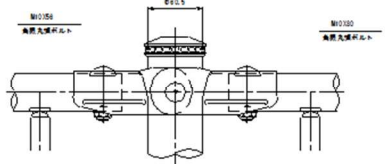
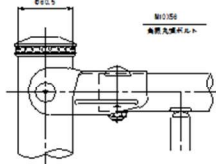
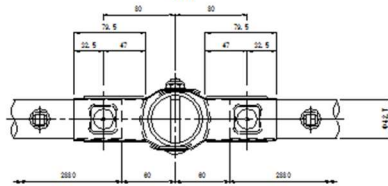
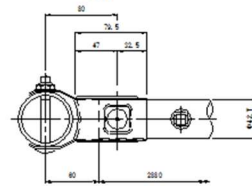
コンクリートブロック用 (例)

土中用 (例)



端部取付け部詳細  
S=1/4

中間取付け部詳細  
S=1/4



均配径最大30% (17°) 中間取付け部詳細  
S=1/4

※ 均配径最大30% (17°) まで標準品で対応可能

端部コネクタ  
(注) 均配は対応せず。

中間コネクタ  
(注) 均配は対応せず。

詳 介 表

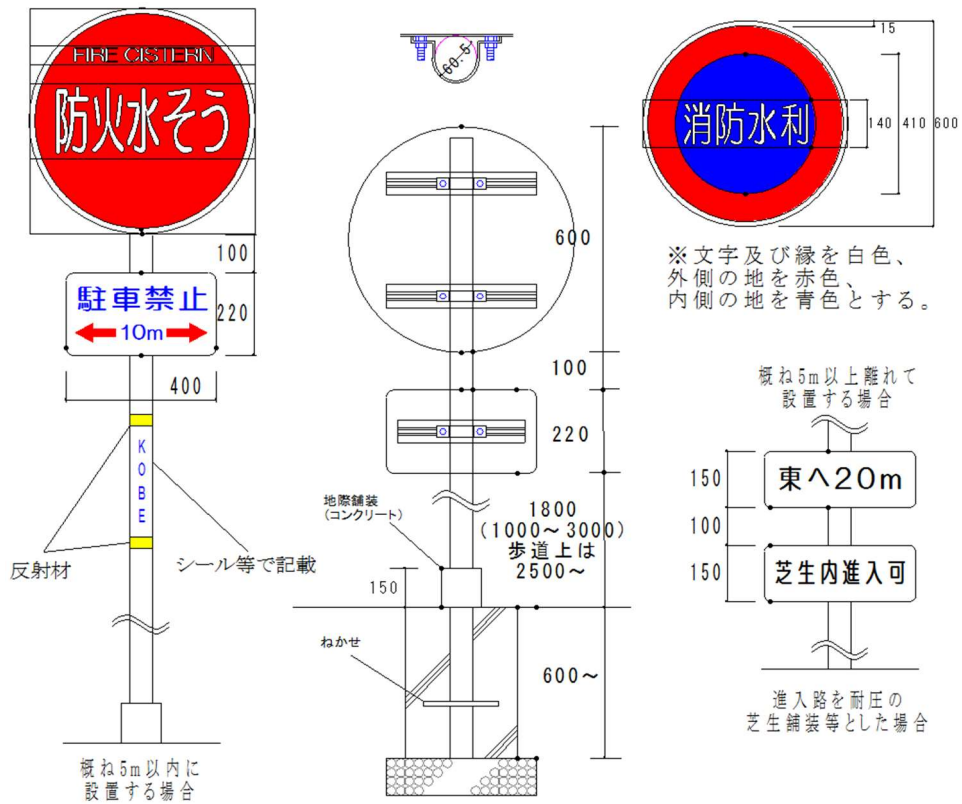
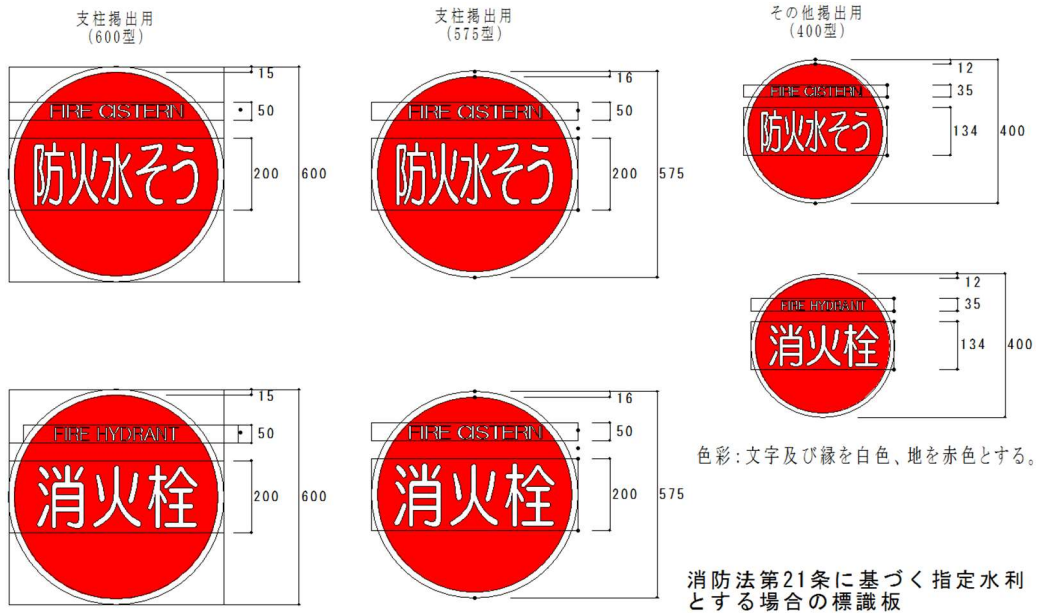
(25mm)

名 称	規格・寸法	質量 kg	数量	質量 kg	材質	塗色
大 柱	φ60.5L 201200	4.10	11	45.1	SPC 400	コンクリート埋込用 (例)
	φ60.5L 200500	2.23	11	24.5	SPC 400	コンクリートブロック用 (例)
	φ60.5L 222200	10.42	11	114.6	SPC 400	土中用 (例)
パイプ一式	φ42L2000	24.28	10	242.8	SPC 400	
端部コネクタ	尺1.8	0.25	10	2.5	SPC 400	
中間コネクタ	尺1.8	0.17	4	0.7	SPC 400	
均配径ボルト	M10J58	0.25	40	10.0	4.8	均配径ボルト・単価書付
均配径ボルト	M10J30	0.25	22	5.5	4.8	均配径ボルト・単価書付

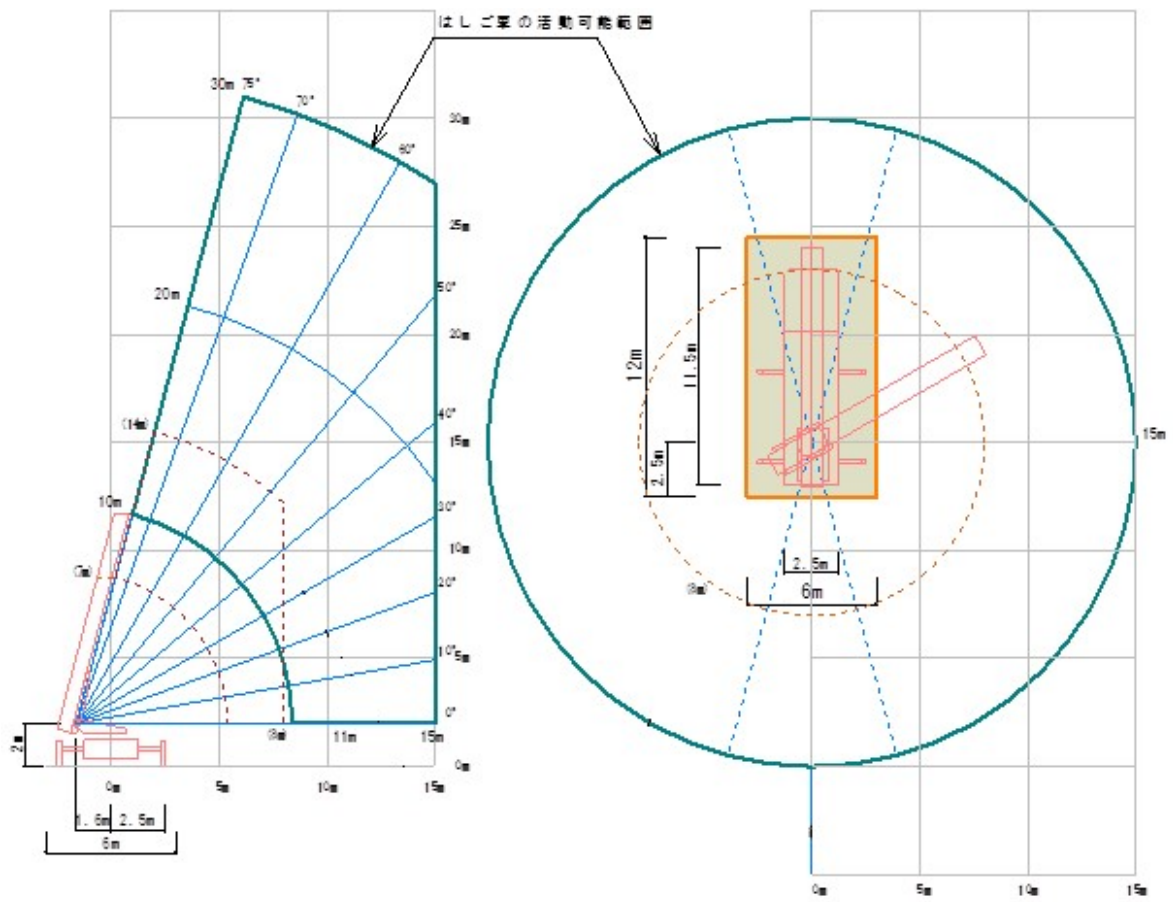
注記：本図は歩道側から見た図である。

高柵 (民地側)

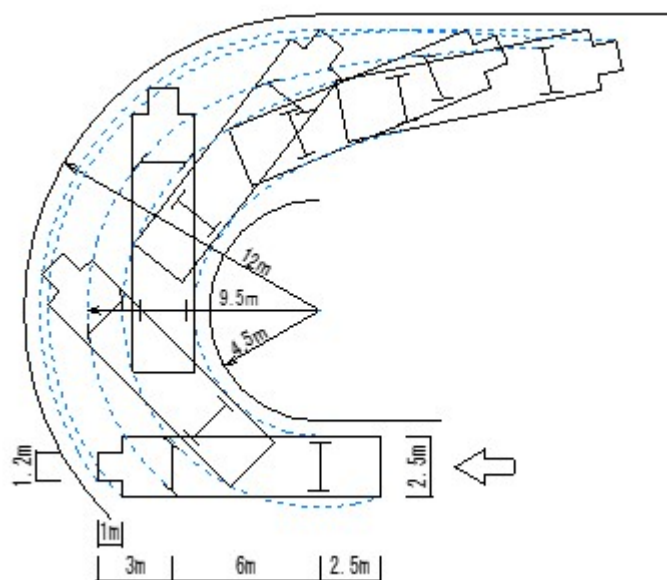
消防水利標識図（参考例）



消防はしご車の活動可能範囲



はしご車回転軌跡参考図



長さ	幅	高さ	前端オーバーハング
11.6	2.5	3.7	3.0

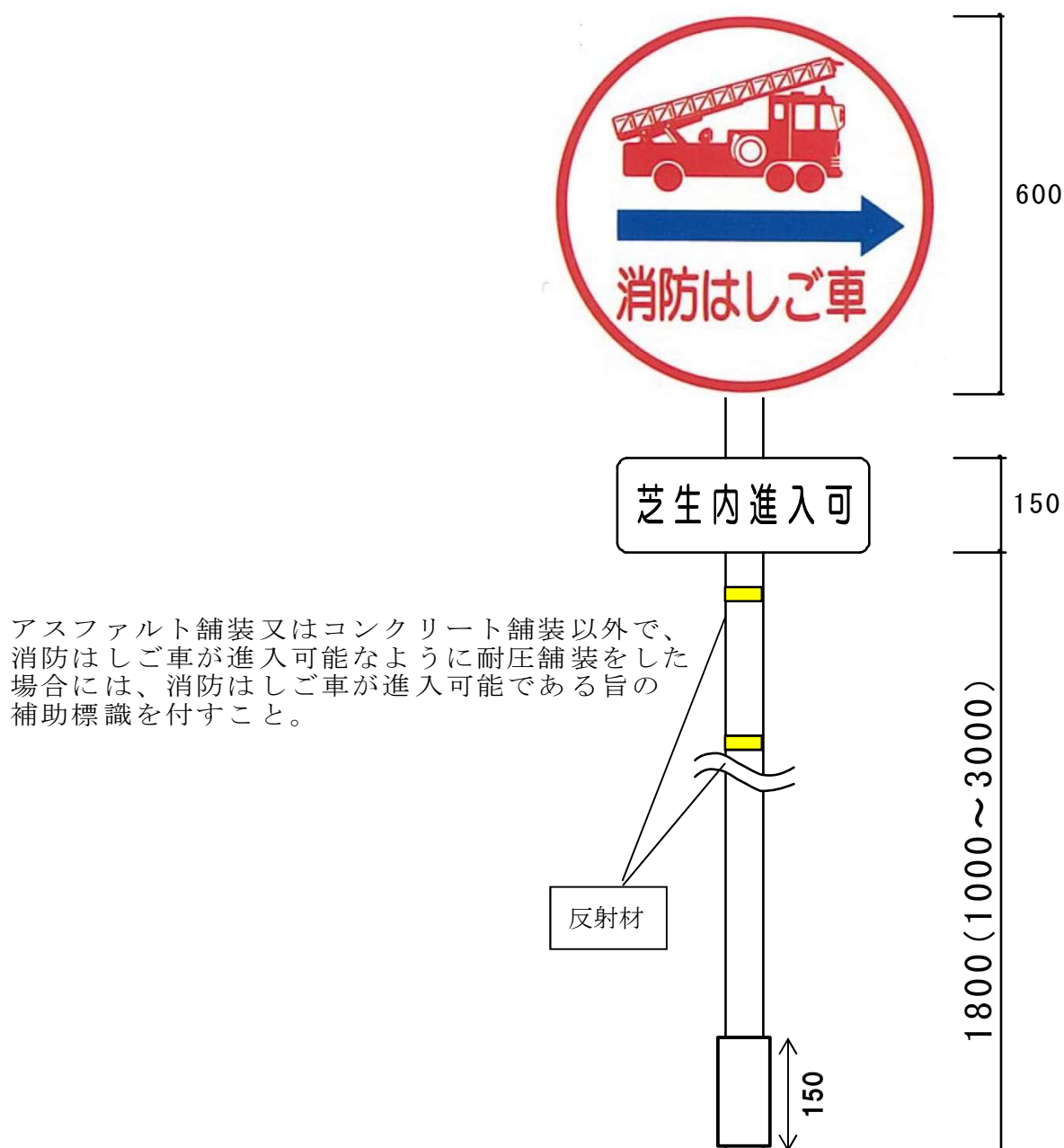
軸距	後端オーバーハング	最小回転半径	総重量
6.4	2.5	8.4	21.2

※総重量の単位はトン、その他の単位はメートルとする。

※用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

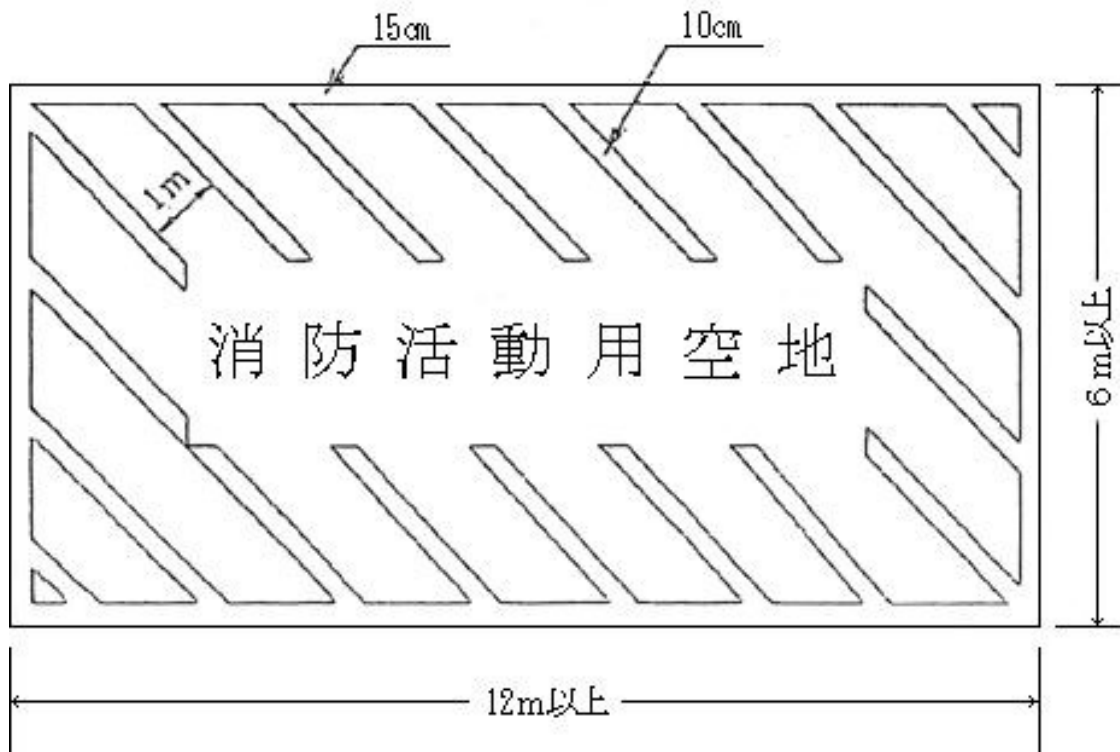
- 1 前端オーバーハング 車体の前面から前輪の車軸の中心までの距離をいう。
- 2 軸距 前輪の車軸の中心から後輪の車軸の中心までの距離をいう。
- 3 後端オーバーハング 後輪の車軸の中心から車体の後面までの距離をいう。
- 4 最小回転半径 外側の前輪の回転半径をいう。

消防はしご車進入路標識図





消防はしご車活動空地標示図



別図第 17

消防はしご車活動空地標識図 (参考例)

(600×900)

**はしご車専用の  
消防活動用空地**

**(注意)** ここは、火災、救助等緊急時に使用しますので一般車両の駐車はできません。

○ ○ ○ ○ ○ ○

消防はしご車  
活動空地空間

(φ600)

